

西彼保健所感染症情報

令和7年 第 35 週 令和7年8月25日 ～ 令和7年8月31日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第35週】百日咳 患者 1 名 (10代・女性)

定点把握の対象となる5類感染症発生状況 (定点医療機関当たり患者数) ↑;前週より増加 ↑↑;2週連続増加 ↑↑↑;急増

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベ ル				警報レベル		注意 報レベ ル
	34 週	35 週	開始	終息			34 週	35 週	開始	終息	
インフルエンザ定点	0.00	0.40	30	10	10	突発性発しん	0.33	1.00 ↑↑↑			
COVID-19	10.00 ↑	10.40 ↑↑				ヘルパンギーナ	0.33 ↑	0.00	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	89.00 ↑	85.00				流行性耳下腺炎	0.00	0.00	6	2	3
R Sウイルス感染症	2.33 ↑	2.67 ↑↑				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	2.00 ↑↑	0.33	3	1		流行性角結膜炎	6.00 ↑↑↑	4.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33 ↑	6.33 ↑↑↑	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	6.67 ↑	5.33	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.67 ↑	0.33	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00			
手足口病	0.00	0.00	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	3.00 警報	2.33 警報	2	1		感染性胃腸炎 （ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が急増しています。



- 好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。
- 食品を介しての経口感染もあります。
- 潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱(高熱)、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。
- 急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により、多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。
- マスクを着用する場合は鼻と口にしっかりフィットさせましょう。
- 手洗いを徹底しましょう。手洗いができない場合は、アルコールを使った手指消毒も効果的です。
- 日頃からバランスの良い食事や十分な休養をとり、体調を整えることも大切です。

突発性発しんが急増しています。



- 乳児期に罹患することが多く、突然の高熱と解熱前後の発疹を特徴とするウイルス感染症です。
- 5歳以上はまれで、2～3歳頃までにほとんどの小児が抗体陽性となります。
- 初感染時の潜伏期は、約10日と推定されています。
- 予後は一般的に良好ですが、稀に熱性けいれん、脳炎等をはじめとする中枢神経合併症を併発したり、劇症肝炎、血小板減少性紫斑病など重篤な合併症をおこすことがあります。
- 主要な感染経路は既感染成人からの水平感染と考えられており、唾液や鼻汁中に排泄されたウイルスが経口的あるいは経気道(飛沫)的に感染すると考えられています。
- 特別な予防法や予防接種はありませんので一般的な感染症対策(タオルの共用等を避ける、手指衛生の励行、マスクの着用等)を行いましょう。